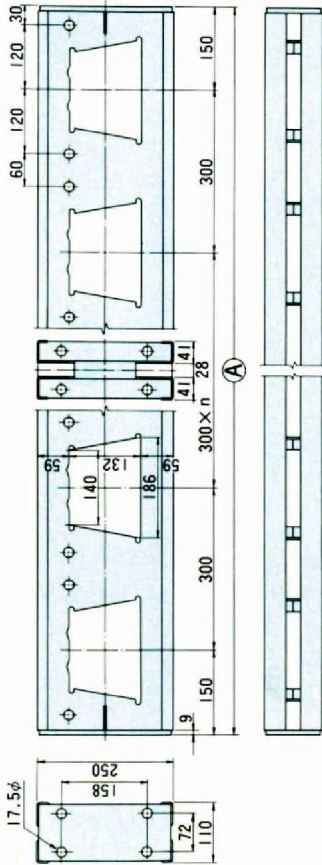


11 ミュー工法

特長

MU(ミュー)はタイボルト、シーボルトの使い分けで、両面・片面型枠施工と用途は多彩。固定は1セット2本のボルトだけで消耗部材が少なく、型枠組みも地組みでOK。作業性がグンと向上します。特に潮の満ち干に左右される護岸工事には下部にタイボルトを取り付けるだけ。余裕ある工事を約束します。もちろんどのような傾斜面でも使用できるなど、優れた施工性で対応し、あらゆるニーズにお応えします。



タイプ	MU-21	MU-27	MU-30	MU-36	MU-39
長さmm	2100	2700	3000	3600	3900
重量 kg	35.7	45.9	50.0	61.2	63.5

■型枠の組み立て方法

1 床面の作成と鋼製パネルの接続



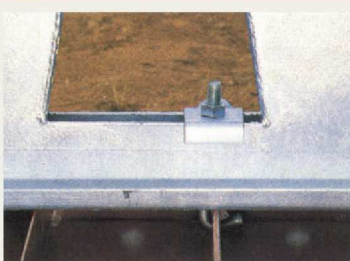
地組み用にバタ材を置いて床面をつくり、鋼製パネルを敷いてUクリップで固定します。

2 ミューとパネルの接続



ピッチに合わせてミューを配置します。

3 ミュー座金の固定



フックボルトとミュー座金でミューとパネルを固定します。

4 パイプの固定

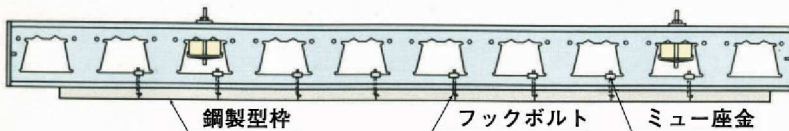


パイプをミューに通し、ナットと座金で固定します。

■各種パネルの取り合い

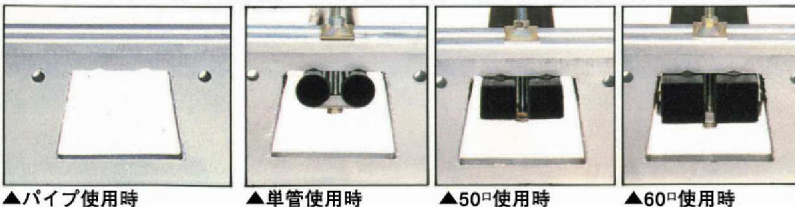
鋼製型枠使用例

鋼製型枠を横手方向に使用し、ミューと型枠をフックボルトで固定、一体化します。この方法は組み立てが簡単で高い施工精度が得られます。



■丸・角パイプ兼用=ツノ付き台形開口

●ミューの“ツノ付き台形開口”は各種バタ材の取り付け作業を容易にします。



▲パイプ使用時

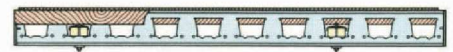
▲単管使用時

▲50^φ使用時

▲60^φ使用時

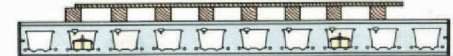
ベニヤ使用例

【バタ角縦使い】



ピッチに合わせて配置されたミューの間にバタ角を平行に置き、ミューと角パイプを固定します。次にバタ角と角パイプを金具で固定します。

【バタ角横使い】



ベニヤをバタ角でくぎ止めし、ミューをバタ角の上に乗せてミュー座金とボルトで固定します。次にパイプをミューに通し、固定します。

【ベニヤをパネル化した使用例】



ベニヤに桧木を取り付けパネル化し、バタ角受金具でミューとバタ角を固定します。パネルとバタ角はくぎ止めします。